

一五〇周年記念誌

（この学校でいつの日も）

深谷市立花園小学校

目次

校歌・校章・校旗	1
空から見た花園小学校	2
ご挨拶	3
花園小学校開校150年 記念事業実行委員会委員長 校長（令和3年4月～現在）	高野 浩成 強瀬 哲朗
祝辞・寄稿	5
深谷市長	小島 進
深谷市教育委員会教育長	小柳 光春
埼玉県議会議員	神尾 高善
深谷市議会議員	富田 勝
株式会社「トルコヒー」名誉会長	鳥羽 博道
花園小学校運営協議会会長	河田 耕一
深谷市立花園中学校校長	佐藤 秀昭
深谷市立花園幼稚園園長	山田 頼子
深谷市花園公民館長	大場 省二
深谷市更生保護女性会 主任児童委員	町田 きみ子
校長（平成7年4月～9年3月）	沼尻 宣子
校長（平成9年4月～13年3月）	浅野 勇
校長（平成13年4月～17年3月）	神谷 爲義
	秋山 武夫

校長（平成17年4月～20年3月）	齊藤 薫
校長（平成20年4月～24年3月）	田中 昇
校長（平成24年4月～27年3月）	斉藤 実
校長（平成27年4月～30年3月）	持田 倫武
校長（平成30年4月～令和3年3月）	茂木 隆資
深谷市立藤沢小学校教頭	加藤 英俊
第二十九代PTA会長	沼尻 裕之
第三十代PTA会長	清水 健一
第三十五代PTA会長	土屋 健隆
第三十六代PTA会長	鳥羽 健次
第三十九代PTA会長	沼尻 務
常光寺住職	高岡 堅一
寿楽院住職	高橋 敬行
昭和三十六年度卒業生（旧姓 青木）	中山 壽子
昭和三十八年度卒業生	柴崎 恵一
昭和三十九年度卒業生	長島 勝治
昭和四十九年度卒業生	荒木 利公
学校風景①	
歴代校長	38
歴代PTA会長	39
花園小学校 歴史年表	40
花園の地図（明治初期）	42
学校風景②	

150年記念式典	
式典・命の授業	45
命の授業を受けて	
児童感想文	50
教職員感想	61
学校風景③	
児童会	69
委員会活動紹介	70
クラブ活動紹介	72
学校今昔	
明治時代 花園地区学校教育の発祥	74
大正時代	78
昭和時代	80
平成時代	84
令和	89
給食の移り変わり	90
広報の移り変わり	93
協賛者一覧	96
実行委員名簿 編集後記	100



校歌

(昭和54年度卒業制作)



現在の校章は、昭和四十年校歌制定並びに体育館の落成を記念して、当時の須藤村長、学校職員で協議して制定されたものです。

校章の中心は、花園の花にちなんで日本の花の代表である桜、中でも大和桜を紋形化したもので、中心の輪は、花園小の円満な和を意味し、外縁の二重円は、小学校での和の精神を広く地域、そして宇宙に広げ、大いに飛躍して欲しいという願いをこめて作られたものです。

(昭五十六年十月三十一日調)



空から見た 花園小学校



平成
18年



平成
25年



令和
4年

花園小学校開校150周年を迎えて 花園地区と花園小学校150年の歩み



花園小学校開校150年記念事業
実行委員会実行委員長

高野 浩成

この度、皆様と共に花園小学校の開校150周年を迎えられたことを喜ばしく存じます。また、昨年の開校150年記念式典並びに本年度の記念誌発行にあたり、地域の方々から多大なるご協賛とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

花園小学校は明治6年（1873年）に花園小学校の母体、用土学校（用土村蓮光寺）・小前田学校（小前田長善寺）・永田学校（永田不動尊）が開校し、令和4年（2022年）に開校150年を迎え、本年度令和5年（2023年）開校150周年を迎えることとなりました。

今回、記念事業に携わって行く中で、花園小学校の歴史には花園という地域社会が大きく関わっていることが再認識出来ました。花園は、荒川村・北根村・黒田村・永田村・小前田村・武蔵野村の六つの村が合併して出来た地域社会です。

最後に紹介した武蔵野村ですが、明治9年（1876年）5月に飯塚村（上郷）・原宿村（中

郷）・猿喰土村（下郷）・飯塚村原宿（旗本領）・飯塚猿喰土村（忍藩藩領）が合併して武蔵野村が誕生し、その後、武蔵野村と用土村が合併して武蔵野連合村となりました。明治22年（1889年）4月1日に町村制施行により榛沢郡花園村が成立する前に用土村は独立します。そのため現在、用土学校は花園小学校の母体ではありませんが、隣の寄居町となっております。

ちなみに花園村の由来ですが、寄居町末野に存在した戦国時代に藤田康邦が領有した「花園城」からです。行政からは「武川村」とつけるようには指導があったようですが、地域の方から「武蔵野村と荒川村が中心のような村名だ！」などの反対意見があり、「花園村」を行政に提出し、何度も断られたそうですが、最終的には認められることとなりました。

こうした背景を見ても、良くいうと信念を持っている・悪くいうと頑固な方は、花園っ子の血を色濃く継承しているのだと思われれます。

昭和58年（1983年）6月1日には、花園村が町制施行して花園町となります。そして今から34年前の平成元年（1989年）には花園生誕100周年を迎えました。17年前の平成18年（2006年）1月1日に合併して深谷市となりました。

こうしてみると、花園という地域社会よりも花園小学校の方が長い歴史があることがわかりますが、小学校の方が何故、歴史が古いのでしょうか。

それは、明治5年に学制という日本最初の近代学的学校制度を定めた教育法令が制定されたためです。

このとき、明治6年に花園小学校の母体である学校を開校した人達は何を思っていたのでしょうか。

私の家に代々伝えられている言葉があります。「一年を楽しむなら花を植え、十年を楽しむなら木を植え、百年を期するなら人を育て、千年を感じるなら神社に祈り、万年を想うなら自然に従う。」

花園小学校はこの地域が有する教育機関です。明治の御代を迎えた先人の方々が百年を期して、地域に教育機関を設けられたことに思いを致しました。学校を開校された人たちにとっての未来は私たちの今です。皆様は今、何を思い、未来についてどう考えているのでしょうか。

結びにあたり、私たち日本人は、こうした先人の心や知恵を伝え、繰り返し重ねることで永遠を求めてきました。形あるものは崩れていきますが、心は受け継ぐことが出来ます。命の繋がりが、命脈。国際化が進み、たくさんの方から日本に住む人が増えていきます。花園地区においても様々な地域から移り住む方々がいらつしゃいます。

先人の心や知恵に加えて、多くの新しい価値観も取り入れて、より良い未来へと命を繋げて頂きたいと願っております。（平成三年度卒業）

あいさつ



花園小学校 開校150周年に寄せて

校長（令和三年四月～現在） 強 瀬 哲 朗

昨年度の着任以来、本校の歴史と伝統の重さを感じながら校長職を務めております。保護者や地域の皆様、卒業生の皆様に支えられていることを様々な場面で実感しています。先日の卒業証書授与式では、証書の番号は12,000番を超えていました。改めて現在に至るまで多くの卒業生を送り出していることを感じました。

50年後の開校200年やその後の未来に向けて、地域に愛され、地域と伴にある学校を目指し、目の前の子どもたちの健やかな成長に、職員が一丸となって全力を傾けてまいります。今後とも保護者や地域の皆様、ご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

深谷市立花園小学校創立150周年を迎えて



深谷市長 小島 進

深谷市立花園小学校創立150周年、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

開校以来、大きな飛躍の歴史を刻むことができましたのは、地域の皆様のご尽力と、校長先生をはじめとする教職員の皆様のご尽力の賜物であると深く敬意を表します。

深谷市では、第2次深谷市総合計画において、「元気と笑顔の生産地 ふかや」の実現に向けて各種施策を推進しております。

「つきぬ未来の夢がある」という校歌の一節からは、次代を担う子どもたちが、元気と笑顔あふれるふるさと深谷の実現を目指して、

夢をもち志高く生きていくという、熱い思いが伝わってきます。

花園小学校の教育実践には、こうした子どもたちの願いに応える教職員の皆様の熱情を垣間見ることができ、地域が誇り、地域に根ざした現在の花園小学校に連綿と引き継がれております。今後とも輝かしい実績を次代に継承し、魅力ある地域が築かれるよう、ご期待申し上げます。

むすびにあたり、花園小学校が今後ともさらなる輝かしい歴史を築き上げられますとともに、関係各位のますますのご健勝とご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。

深谷市立花園小学校 創立150周年をお祝いして



深谷市教育委員会教育長 小柳 光春

深谷市立花園小学校が創立150周年を迎えましたこと、心からお祝い申し上げます。

花園小学校は、開校以来、現在に至るまで、多くの方々に支えられながら、着実な発展を遂げてまいりました。これもひとえに、地域の皆様のご理解とご協力、そして歴代の校長先生方、これまで本校の教育活動に携わってこられた多くの教職員の方々の熱い思いと献身的なご努力の賜物であると、心から敬意を表する次第であります。

花園小学校の校章は花園の「花」にちなんで、桜を紋形化したものです。中心の輪は、花園小の円満な

輪を意味し、外縁の二重円は、小学校での和の精神を広く地域、そして世界・宇宙に広げ、大いに飛躍してほしいという願いが込められています。児童の皆さんには、校章に込められた想いを大切にして、ふるさとを愛し、夢を持ち志高く生きてほしいと思います。

結びに、花園小学校における教育活動が今後とも高い理想を掲げながら着実な実践を積み重ね地域の皆様とともに、これからもよき伝統を築き上げていけることを心よりお祈り申し上げます。



花園小学校 開校150周年に寄せて

埼玉県議会議員 神尾 高善

深谷市立花園小学校が栄えある創立百五十周年を迎え、記念誌が発刊されますことを心よりお祝い申し上げます。

学校が開校した明治六年は、時代が江戸から明治に変わった間もない頃で政治や経済などの近代化が急速に進み、世の中が大きく変わった時代であります。この時代、渋沢栄一翁や尾高惇忠など優れた人材が深谷市より生まれております。

こうした人たちの活躍と共に花園小学校も地域の学校として役割を果たしてきたことと思います。

この節目にあたり、百五十年の思い出を共有し、伝統輝く花園小学校の益々の発展と子どもたちの健全な成長を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

花園小学校 開校150周年に寄せて



深谷市議会議員 富田 勝

この度は、花園地区唯一の小学校として歩み続け、開校150年を迎えられたことに對し、心よりお祝い申し上げます。

さて、私は花園村立花園小学校に65年程前の1957年（下郷と西の階戸で編制されたクラス）に入学しました。4クラス200人くらいだったと思います。耕地整理前でもあり、曲がりくねった泥道を大勢で列になって登校し、道草を食いながらの下校でした。校舎は木造平屋と2階建てが南北に分かれて、今の体育館から図書館までの間は赤松と雑木の

裏庭（山）でした。今でも数本が残り当時が偲ばれます。校舎に入ると下駄箱があり廊下には和傘（番傘）の貸傘が教室ごとに人数分吊るしてあったのが懐かよみがえります。寄稿にあたり当時の事を想い浮かべ、懐かしい思い出に浸りました。

最後になりますが、記念事業の式典や記念誌の発行等にご苦勞を頂いている、実行委員会や校長先生をはじめ、先生方に感謝いたすとともに、花園小学校の益々の發展をご祈念申し上げます。

（昭和三十八年度卒業）



花園小学校 開校150年を迎えて

株式会社トールコーヒー名誉会長 鳥羽博道

花園小学校創立150周年誠におめでとうございます。かつては花園村。美しい名前の村に生まれた事、何か誇りに思っていました。深谷市との合併により花園町がなくなりました。非常に残念に思いましたが、花園小学校が花園という名前で残ったこと非常にうれしく思っております。

一口に150年前に創立された時代がどんな時代だったんだろうと思わず考えました。私の父が生まれてから116年。祖父が139年。曾祖父が164年。このように考えてみると大変な歴史を経た小学校であることがわかります。その頃の花園村は極めて貧しい所であったと思います。その頃の方々が子どもの教育を考え小さな学校だったと思いますが設立を考

えた方々は子どももの教育を通して豊かで幸せな時代を創ろうと願ったに違いありません。

深谷市が誇る洪沢栄一翁は至誠・士魂商才という揮毫を残しています。我が家には至誠通天という大きな額が飾ってありました。小学校の頃からそれを見て父は何の説明もしてくれませんでした。誠は天に届くと自然にその事が体に入ってきたような気がします。洪沢栄一翁が考える至誠・士魂商才・至誠通天は人としての最も基本になるものかと思えます。誠実に生き小学校の皆さんは正義感と思いやりを持って一生懸命勉強に励み人の為に役立つ人になって下さい。その事を祈念してお祝いの言葉と致します。

花小にもあった駅伝大会！

花園小学校運営協議会会長

河田 耕一

私は、花小に昭和二十九年四月に入学し、仲間と楽しく過ごしました。その中で記憶に残る一つに、花園一周の駅伝大会があります。

大会は、第四く第六学年の各クラスの代表選手が競うもので、学校をスタートし、国道を西に下り、第二中継所の小前田駅前、その後、中郷から上郷へと繋いだ後再び中郷に戻り、コース最長距離でクラス最強選手の走る中郷から下郷を経由し、北根、永田、黒田、荒川を経て、花小にゴールするコースでした。

伴走は担任の先生で、自転車による伴走でした。埃に塗れながらも、選手と共に笑顔でゴールインする姿が印象的でした。

今思うに、子どもたちに変化が見られました。上級生には下級生を思いやる心が、また下級生には上級生を敬う心が育ち始めたのです。

駅伝大会は、後年、戦後日本の発展に貢献することになる子どもたちを、優しく逞しく育てる一大学校行事だったのです。

(昭和三十四年度卒業)

深谷市立花園小学校 創立百五十周年を迎えて

深谷市立花園中学校校長 佐藤 秀昭

開校百五十周年、まことにおめでとうございます。

今から百五十年前の明治六年に、花園小学校の母体となる三つの学校が開校しました。花園という地名は戦国時代の花園城が由来だそうです。当時の児童と教職員はどのような学校生活を送っていたのでしょうか。想像するだけでもわくわくします。

私は昨年度、花園中学校に着任しましたが、花園地区の保護者や地域の皆様方は、花園を愛し、誇りに思われていることを感じます。

花園小学校では子どもたちの健やかな成長のために、校長先生をはじめ先生方が一丸となって教育活動を推進されています。ふるさとを愛する人間性豊かな花園小学校の子どもたちが、中学校入学後も夢や希望を持ち、自己実現のために努力し続けることができるように支援してまいります。今後も小中連携を基盤に、保護者と地域の皆様方のご理解ご協力、ご支援をいただきながら、九年間の学びを充実させていきたいと存じます。

感謝

深谷市立花園幼稚園園長 山田 頼子

開校150周年おめでとうございます。花園幼稚園は、花園小学校の校長先生が園長を兼務していた時期もあり、開園以来小学校には大変お世話になっております。隣接する好条件のもと交流が続き、様々な幼稚園活動を進めるにあたり、お力添えをいただき、また、毎年卒園児を温かく迎えて下さり、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

私が学校を訪問した際には、児童が明るい挨拶をしてくれます。清掃時間では、協力して一生懸命取

り組む姿が見られます。また、先生と児童がにこやかに歓談する場面も見かけました。このように子ども達が明るく礼義正しくのびのびと学校生活を送れるのも150年という長い歴史の中で今まで関わってこられた方々の努力と校風を大切にしてきた賜物と存じます。今後も伝統を引き継ぎ、地域の皆様と共に益々発展することを願っています。

開校150周年記念誌発行に寄せて

深谷市花園公民館長 大場 省 二

深谷市立花園小学校開校150周年、誠におめで
とうございます。

私の在学中には、木造校舎から現在の校舎に建て
替えられ、新しい校舎で学び過ごせたことを大変嬉
しく感じたことが記憶に残っております。

花園小学校開校150年式典は、大勢の来賓があ
り地域に愛され続けていることを感じたところでご
ざいます。また、ゴルゴ松本氏による講演会では、校
歌合唱の提案があり卒業後40年以上経っても歌うこ

とができ、建物は変わっても校歌は変わって欲しく
ないと切に思ったところでございます。

公民館といたしましては、花園小学校の発展に微
力ではございますが、お力添えしたいと考えており
ます。

これからも、花園小学校が地域から愛され存続し
発展することをお祈り申し上げます。

(昭和五十一年度卒業)

花園小学校創立150周年に寄せて

深谷市更生保護女性会 町田 きみ子

花園小学校が創立150周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。花園生まれではない私ですが、息子が花園小学校にお世話になりました。校歌が歌えるようになりました。

子育て卒業後の現在は子育て支援の一環として地域の子どもたちに寄り添い、見守り活動や子ども食堂の運営を行っています。その中で子どもたちは地域の宝であることを痛感しています。

校歌の歌詞に込められたのどかで緑豊かな花園地

域は、高速道路インターや大きな商業施設ができ大きく様変わりしましたが、子どもたちは純朴さを失うことなく元気に過ごしています。私は日々その子どもたちから元気を貰っています。その陰には教職員の方々の皆さまのご尽力が大きいこととお察し致します。

150年の伝統を持つ花園小学校の卒業生が地域に愛着を持ち誇れるように、地域住民の一人として、これからも子どもたちの健全育成の為に少しでもお役に立てるように過ごしていきたいと思えます。

花園小学校 開校150周年に寄せて

主任児童委員 沼尻宣子

花園小学校150周年という記念すべき時に、主任児童委員として寄稿させていただける事に感謝の思いでいっぱいです。

我が家は、義父・夫・三人の子ども達が花園小学校の卒業生です。花園は、私にとって、親としてのスタートの地です。

様々な学校行事は、親子にとって学びの場でした。三人の年子だったので、授業参観や運動会は大忙しでした。

開校150周年の歴史の中には、戦争や自然災害

もあつたと思いますが、今回のコロナ感染のように、世界中の人が苦しみ、マスクの日常が数年間も続くとは？ 誰も想像していませんでした。子ども達の生活も時には止まったり…変ったり…それでも遅く未来に向かって進んでいる姿は、本当に素晴らしいです。いつか「あんな事もあつたね！」と笑顔で話せる日が来る事を願っています。これからも、200年250年と、歴史を重ねて、美しい花園の心を継承して貰いたいと思います。

花園小学校開校一五〇周年を祝して



校長（平成七年四月～九年三月）

浅野

勇

花園小学校開校一五〇周年、誠におめでとうございます。

花園町の町制一〇〇周年事業として平成元年（一九八九）の第一回目について、二回目の和歌山県花園村への五・六年生一六名の三泊四日の派遣事業が平成八年八月に行われ、素晴らしい交流になったと思います。

同年度には町議会、町当局のおかげで広い校庭の全面改修と高さのある立派な防球ネットを張ってい

いただきました。学校は楽しく、自分たちの生活向上に役立てることができるところだと子ども達も心から実感できる環境づくりになったと確信しました。

各字で子どもとお年寄りやPTAの方々との異年齢集団で、遊んだり、昔の話を聞いたり、物を作ったりの交流会「あそぼう会」も子ども達には生きる力を身につける良い機会に恵まれたと思います。幸多かれ花園小学校！

町長の一言



校長（平成九年四月～十三年三月）

神谷 爲 義

私は平成九年度から四年間勤務した。一町一校。着任当時人々は町と学校の様子を誇らしく語ってくれた。学校は町民の誇りであり拠り所だった。行政も予算措置に寛大だった。九年度に運動場をグリーンコートにした。十一年度には教室棟の耐震診断、十二年度に補強工事。これは他の市町村に先んじていた。教育内容面では卒業式の形が変わった。それまで卒業式はフロアー形式だった。体育館の中央に演台を置き、前に卒業生、後ろに在校生、両側に来賓と

保護者及び教員が並ぶ。周囲の壁もステージも大きな壁絵を下げる。それを十一年度にステージを使う形にした。華やかな集会から厳肅な儀式への変更である。国旗もステージ正面に掲揚する。教員間に混乱が生じ、それが地域にも及んだ。式当日、祝辞に立った富田町長が開口一番「この形がよい」と述べられた。以後それが続いている。

花園小学校 開校150周年に寄せて



校長（平成十三年四月～十七年三月）

秋山 武夫

花園小学校開校150周年、誠におめでとうございます。

私は平成13年度から4年間お世話になりました。

当時、深谷市との合併を見据え、学童保育所や子ども図書館の新設など様々な課題がありました。

いろいろなことが思い出されますが、とりわけ学

力向上フロンティアスクールの研究・実践は昨日のこの様に鮮明に思い出されます。

その実践の1つとして高学年の教科担任制があり

ました。保護者の同意を得て5・6年生8クラスで

ほぼ全ての教科で教科担任制を採ったことです。児

童・保護者・職員の評価も高く、確かな学力の向上が図れました。

花園小学校の益々のご発展を祈念します。

150周年を祝して



校長（平成十七年四月～二十年三月）

齊藤 薫

150周年を心からお祝い致します。

私が勤務したのは、平成17年度からの3年間でした。学校に来た時、広大な敷地と大きな学校建造物、そして、いつでもしっかりと話を聞ける児童達に驚きました。

17年度は花園町が3学期から深谷市になった年です。学校も様々な対応がありました。学校の校旗は、町立の時の極めて立派な物が2つありました。それを活用するのが最上策と考え、役員さんや先生方と

相談し、より立派な旗の刺繍を深谷市立に入れ替えて頂き、学校の宝物としてよみがえらせました。

19年度は体育館の改築です。花園村が国体会場と小学校用にと作った巨大な体育館でしたが、経年で支障も出ていました。改築された新体育館は、工夫された使い易い物で、どこも光り輝いていて、児童の目も輝き、早速学習と行事に利用し、皆で喜びました。合併でいろいろな事のあった3年間でした。地域と学校の益々のご発展を祈念しています。

花園小150周年記念誌に寄せて



校長（平成二十年四月～二十四年三月）

田 中 昇

学校には校章というものがありますが、その校章が花園小学校の校長室に掲げられています。この校章は、漆で作られたもので非常に貴重なものです。これは、花園小の卒業生である高濱（旧姓出浦）裕美子さんとその夫である高濱幸作さんの作による

他界されましたが、花園小に寄せる思いは今も変わらないことと思います。この校章は、これから先もずっと花園小学校で引き継がれていくことと思いますが、花園小の益々の発展を願ってやみません。

ものであります。高濱さんは石川県にお住まいの輪島塗の伝統工芸士であり、これまで数々の賞を受賞されております。残念なことに裕美子様は数年前に

花園小学校開校150周年を迎えて



校長（平成二十四年四月～二十七年三月）

斉藤 実

花園小学校が開校150年を迎えられましたこと、心よりお祝いを申し上げます。

私は、平成24年4月から校長として3年間お世話になりました。在任中を振り返り、心に残っていることは「おはようございます」「こんにちは」の挨拶がしつかりできる子どもたちの姿です。また、休み時間には校長室前に行列ができるほど詩の暗唱に熱心であったこと、「清潔整頓」の校訓が浸透し清掃が上手であったことも印象に残っています。そして、

「おらが学校」として地域の方の思いがあり、自分の夢・未来を見つめる「夢授業」や地域に親しむ「全校ハイク」等の取組で、地域の方々にたくさんのご協力をいただけたことも大変懐かしく思い出されます。今後も、子どもたちが地域「花園」に関心を持ち、様々な人に関わりながら夢・未来に向かっていくことを切に願っています。

開校150年に寄せて



校長（平成二十七年四月～三十年三月）

持田倫武

開校150年おめでとうございます。私は新任校長として、平成27年度から29年度までの3年間お世話になりました。

ができました。

校長としての最初の入学式は、時ならぬ雪となり、桜の花に雪が積もってとてもきれいだっことを思い出します。また、在任中は「わくわく大作戦」を

花園小学校と関係者の皆様に感謝を申し上げますとともに、今後は、母校でもある花園小学校の発展に、微力ではありますがお力添えができればと考えております。

キャッチフレーズに、子ども達の笑顔にエネルギーを

ありがとうございました。

もらいながら、楽しく充実した3年間を過ごすこと

（昭和四十八年度卒業）

花園小学校開校150周年に寄せて



校長（平成三十年四月～令和三年三月）

茂木隆資

花園小学校の開校150周年まことにおめでとう
ございます。

歴史と伝統の重さを感じながら校長を務めた3年
間は保護者や地域の皆様に支えられたとでもありが
たい時間でした。校長室の昔の資料を見るにつけ、先
人がどのように花園小で過ごしていたか想像してい
ました。特に戦時中の記述からは平和の尊さを感じ
たものです。

今も昔も、そしてこれからも地域に愛される学校
であることは、時々学校にお力添えをいただく地
域の皆様のお熱意からも感じることが出来ます。そし
て、変わりゆく地域の様子から明るい未来を感じま
す。ふるさとを愛する人間性豊かな花っ子の元気な
笑顔が絶えない学校であり続けるでしょう。

花園小開校百五十周年に寄せて

深谷市立藤沢小学校教頭 加藤 英 俊

花園小学校開校百五十周年並びに記念誌の発行を心からお慶び申し上げます。

私は令和二年四月から二年間教頭としてお世話になりました。令和二年度は、例年とは異なる中でスタートでした。四月から暫く臨時休業となり、手探り状態で毎日を過ごしていた思い出があります。五月末に分散登校となり、学校に子どもたちが戻ってきた喜びと活気は今でも忘れられません。

その後も様々な活動が制限される中、こんな時だからこそ、子どもたちに元気と笑顔を届けようと、PTAの方々が色々と考えてくださいました。ヒーローに変装してプレゼントを渡したり中国雑技団を招き校庭で観覧したりした活動もありました。

保護者の方々の子どもたちを想う熱い気持ちに沢山触れる事が出来た二年間でした。花園小の益々の発展と飛躍を願っております。

花園小学校 開校150周年に寄せて

第二十九代PTA会長 沼尻裕之

開校150周年誠におめでとうございます。記念誌作成にあたり関係各位のご尽力に敬意を表します。明治初期の激動の時代に小学校を建てようとした先人の方々には感謝です。ただ私の家は黒田だったのでもう少し近くに建ててほしかった。

日本で初めて新橋―横浜間を旅客列車が走ったのが150年前です。技術の進歩により今では世界一安全な乗り物になりました。花園小出身の方には鉄道関係者も多く、花園っ子の技術が日本の鉄道を大きく進化させたと思っています。

私が花園っ子だった昭和50年頃は現在の建物のほかに木造の古い校舎も現役でした。ジブリの映画に出てきそうな校舎で、床は木の板がそのままです。節が抜け落ちていて掃除のときはゴミをその節穴に落としていたような記憶があります。私ではなく友達ですが。

小学校の6年間とは、その人のその後の人生を大きく変える貴重な6年間です。私はその6年間が花園小学校で最高に良かったです。

(昭和五十二年卒業)

開校百五十周年、おめでとございます。

第三十代PTA会長 清水 健 一

花園小学校が、地域の皆様に愛され、支えていただき、百五十周年を迎えられたことに対し、歴代校長先生を始め、携われた教職員皆様に感謝と敬意を表します。今、花園地域は目覚ましい発展を遂げております。花園インターチェンジ周辺にアウトレットが誘致され、大変賑わっております。これも、花小で学んだ先人皆様のお陰であり、そう考えますと「教育」の大切さを再認識させられます。私は、平成十八、十九年度の二年間、PTA会長として

お世話になりました。当時を振り返りますと、子どもたちと一緒に参加した運動会や朝の挨拶運動、資源回収も年三回も実施しました。地域の皆さんは、「子どもたちのためなら」と喜んで協力して頂きました。こうした環境で学ぶ子どもたちは、必ず良い人間に成長します。結びに、花園小学校の益々のご発展をお祈りいたします。

開校百五十周年に寄せて

第三十五代PTA会長 土屋 隆

花園小学校開校百五十周年誠におめでとうござい
ます。

私は二人の子どもの在学時に八年間、PTA役員
としてお世話になりました。役員として活動してみ
ると、学校運営や先生方のお仕事、また現場の先生
の生の声が聴けて、大変に貴重な体験や、沢山の児
童や先生方と仲良くなれました。

本当に花園小学校は素晴らしい学校です。校名ど

おりの「花が咲き誇る学びの園」としてこれからも
優秀な人材を輩出する地域の宝城として歴史を刻ん
で頂きたいと思います。

私も近隣地域の者として微力ですが、協力して参
ります。この度は大変におめでとうございました。

開校150周年に寄せて

第三十六代PTA会長 鳥羽健次

開校百五十周年、誠におめでとうございます。記念誌の発行にあたり、ご尽力くださいました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

卒業して四十年、当時の花園小学校は、現在の校舎が数年前に完成し、1学年二百人で5クラス、全校生徒が千二百人を超えるマンモス校でした。運動会では、トラックの周りが生徒席で埋まり、保護者はその周りから見学していました。

私は平成二十七年度にPTA会長をさせていただきましたが、恥ずかしながらこの時、この小学校は

地域に支えられていることを実感しました。花園小

学校は、電車通学もある大きな学校です。上郷からは、1時間近く歩く児童もいます。だからこそ地域の皆様の支えの上に子どもたちが無事に学習できると感じています。祖父、父、私、そして子どもたちと四代にわたりお世話になった母校です。何かの形で恩返しできればと思います。

結びに花園小学校のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

(昭和五十八年度卒業)

花園小学校 開校150周年に寄せて

第三十九代PTA会長 沼尻 務

花園小学校創立150周年、おめでとうございます。

私の3人の子どもたちが花園小学校でお世話になっておりますが、私自身も昭和61年に卒業してお

ります。私が卒業するときに完成した特別教室棟、卒業記念で制作した校舎東側にある屋外水道の銅板、

そして自分たちも使った教室棟などを見ると、楽しかった思い出がよみがえりとても懐かしく感じます。

縁あって令和元年度、2年度と2年間PTA会長を務めました。花小まつりで気球を飛ばしたり、釜

石とりモートでつないで防災授業を行ったり、中国

雑技団の演技を見てもらったりと、「子どもたちのた

めに」事業を実施させていただきました。当時の茂

木隆資校長先生をはじめとする先生方のご理解とP

TA役員の皆様の協力に、この場をお借りしてあ

らためて感謝申し上げます。

あいさつ運動では、どの子ども元気に「おはよう

ございます」と返してくれます。これからも元気で

明るい花園っ子の成長と、花園小学校のますますの

ご発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

(昭和六十年卒業)

花園小学校 開校150周年に寄せて

常光寺住職 高岡 堅 一

花園小学校開校150年誠に御目出度うご座居ます。歴史は長いもので花園は明治9年迄は北飯塚村、原宿村、猿喰土村、小前田村、荒川村、黒田村、永田村、北根村の8村で、その後6村となり、明治22年4月1日の合併で花園村となり、昭和後期に花園町に、平成18年深谷市に合併となる。

常光寺は正安2年(1300年)に開山し徳川時代(1600年)より寺子屋となり260年。明治になり政令により尋常小学校制を行い、原宿常光寺・小前田長善寺・永田不動薬王寺に設立されたが、明治13年の就学率は18%、明治16年で40%50%でした。明治17年統合され武蔵野常光寺と黒田薬王寺の二校となり同年

尋常小学校4年制の義務教育となった。

明治22年桜沢村に先に花園小学校を名乗り、花園は旭小学校の名にした。間もなく桜沢村は桜沢小学校に改名し、直ちに花園村は花園小学校と改名したが、当校は常光寺武蔵野教室、薬王寺黒田教室の二校で行われた。

明治25年、荒川寿楽院に花園高等小学校が設立され、明治42年花園小学校(常光寺)と花園高等小学校(寿楽院)となった。

尚、明治40年以降は、小学校は6年制に延長され強い義務教育制になる。

大正3年現小学校の基となる、敷地2町8反19歩(28,190㎡)を確保し、高崎市井上組が工費33,248円にて着工。

大正4年12月20日落慶(107年前)

し、昭和16年太平洋戦争(第二次世界大戦)が始まり国民学校と改称する。昭和20年10月11日教育の自由化となり、昭和21年11月1日花園村教育委員会発足、昭和22年4月花園中学校創立(75年前)。寺子屋、尋常小学校、国民学校そして現在の小学校と約400年の歴史をもって多数の卒業生を出した。現在は深谷市立花園小学校となったが、永遠に続く花園小学校の繁栄と栄光を祈る。

花園の名の由来 16世紀中期鐘撞堂山に花園(薊園)城(藤田一族の城)があり、合併6村の合議で花園村となる。(上郷の最西)

(昭和三十九年度卒業)

花園小学校 開校150周年に寄せて

寿楽院住職 高橋 敬行

花園小学校開校150周年おめでとうございます。

私は、昭和24年桜の花咲く4月に母に連れられ入学いたしました。

1年3組の担任は、優しいお姉さんのような峰岸先生でした。校長は佐久間先生だったと思います。写真では、42人の児童が写っていますが荒川地区全員と他地区の一部が加わったクラス編成でした。幼いときから遊び友達なので安心感がありました。通学時の履き物は下駄や草履、素足の者も大勢いました。当時は毎年大雪が降り手にはひび割れ、足にはアカギレができたように思います。楽しみな遠足も徒歩です。道路はデコボコ、道端には草がいつぱい、そんな道を2列になって玉淀河原へ行きました。母やみ

んなど一緒に青空の下で食べる弁当は格別でした。

この頃は、戦後の復興期で食糧の増産に力を入れ農繁休業があり麦刈りや蚕のしきり（塾蚕）ひろい等家業の手伝いをさせられました。

今日の児童には想像もつかないと思います。今後とも児童の健全育成と花園小学校の限りない発展向上を祈ります。

（昭和二十九年卒業）



開校150年に思うこと

昭和三十六年度卒業生

中山 壽子

(旧姓 青木)

花園小学校創立150周年、誠におめでとうござ
居ます。心からお喜び申し上げます。

私達が育った小学校の思い出は、うす緑色の木造
校舎に広い校庭、児童数も多く千人以上が通って
いました。

給食当番などもあり、各家庭から野菜を持ち寄り、
皆で食べる給食も楽しみの一つでした。四年生から始
まった習字も今ほど塾や習い事も少なく夢中で頑張
り全国展で三位となり、朝礼時に賞状と記念品を
いただきました。

今でも書は地域で教えたり、書展に出しずっと勉
強中です。生涯の友となりました。

コロナ前は集まって同窓会もやり、平和が訪れる
事を願います。

花園小学校が益々発展し、卒業生、皆様の健康を
祈念致します。

花園小学校 開校150周年に寄せて

昭和三十八年度卒業生 柴崎 恵一

「花園村立花園小学校」私が桑畑と麦畑の中を六年間通い、昭和三十八年に卒業した小学校です。夏には荒川に遊泳できる区域を定め、白旗が揚げられている時間だけ遊泳でき、夏休み中は毎日川で遊んでいました。

花園村は、合併もせず長い間独立した地域であったと聞き、自立したイメージに魅力を感じ、花園という言葉の響きの良さも手伝い、生まれ育ったことを嬉しく感じていました。

この度の花園小学校開設百五十年という歴史に驚くとともに、卒業生の一人として、ひと時ではあるが関わったことを誇らしく思います。そして地区内の小中学校で九年間一緒に学ぶという特徴を生かし、これまで培って来た教育方針に「立志と忠恕の深谷教育」の理念のもと、ふるさと花園を愛し、夢を持ち、志高く生きる子ども達が育まれる小学校として更なる歴史を積み重ねていってほしいと願っています。百五十周年、誠におめでとうございます。

昭和39年花園運動会の思い出

花園小学校創立150年おめでとうございます。

昭和39年秋東京オリンピックが日本で初めて開催された。同時期に花園小学校でも運動会が開催された。オリンピックと同様に聖火点火式を行った。私は、聖火をもって列の先頭に立って西門よりトラックを4分の3周して聖火点灯の役を仰せつかった。西門をスタートして半周した時点で父親がカメラをもって撮影した。私は写真を楽しみにしていた。そして写真屋より現像した写真を見てガツカリした。写っていたのはピンボケの写真で私だか誰だかわからないように見えた。せっかく楽しみにしていたのに、家族全員で笑ってしまった。今でも当時の写真を見るたび残念と、同時に笑みが浮かぶ。



昭和三十九年度卒業生

長島勝治

花園小学校 開校150周年に寄せて

昭和四十九年度卒業生 荒木利公

思い出を少し語りましょう。

まず、あの旧木造校舎で6年間を過ごせたことで、私たちが卒業するとすぐ、今の近代的な新校舎が造られました。当時は新校舎に入れなかったことを残念に感じましたが、今ではむしろ、田舎の泥の匂い、剥がれたペンキの木造校舎で学べたことは幸運だったと思えます。

困ったのは、便所です。男子専用の大使用便所がなかった。

大便は女子便所を使わなければならず、これをする時、男子たちから「あいつ女便所でうんこしたぞ」と喧伝されるので、使えなかった。本当に辛かった。当時の男子生徒はみな、共感してくれますよね(笑)。

ずば抜けた個性、親しみと怖さも兼ね備え、他をもって替えがたい、熱病に罹ったかのような熱愛のあふれ出る先生たちに恵まれていた花小。…これは、大人になり、世間の様子を知ってから、わかったことです。

花園小学校に関わる人がみな、ずっとわくわくしていることを、切に願っています。





花園尋常高等小学校

大正4年12月20日 新校地に新校舎誕生



新校舎上棟式



新校舎竣工記念写真

大正4年2月着工

付帯条件 武蔵野上郷地区よりの通学道路を最短距離に改修する。また他地区からの道路も追々改修して通学に便ならしめる。

資金 総額 三三、二四八円
内 県教育資金 一七、八〇〇円
 県慈善救済資金 九、〇〇〇円
 村民寄付 六六〇〇円

敷地 小前田字宿北一四一六番地ほか三五筆
（関係地主十七名）
畑、山林合計二町八反六畝十九歩
建築請負人 高崎市井上組（代表 富田幸太郎）



内田文平

大正4年花園村長
小学校の統合と新校舎
建設に尽力

小学校建築

大正時代の花園小

明治25年9月に頓挫して以来全く進歩せず、校舎が三カ所に分散していた。経費や学校管理など教育行政上多大の支障があった。広域な通学区域をもつ村のため、位置の選定だけでも難問題だったため、歴代村長もあえて触れたがらなかった。

大正3年、学校建築に着手する決意を披瀝して村会の協力を求めた。これを契機に建築計画は急速に進み、具体化した。

正門道路問題

原案では小前田宿を東西に貫通する秩父街道から、正門正面に達する道路の開削を予定（長善寺境内を縦貫し、使用中の井戸や庫裡までも道路敷に含む）。驚いた長善寺檀徒は早速村長に意義を申し立てて計画の変更を迫った。信仰にかかわる問題としてこれを認め、寺地の西側を開削することで妥結し、現状にみられる道路が設けられた。

大正4年12月20日 落成

昭和時代の花園小

昭和5年

「豊作ききん」が重なり徴税令書を支払えない村人も現れた。小学校教員は毎月の給料の中から一割を村に寄付し、教科書以外の学用消耗品（筆墨、紙、鉛筆、消しゴムなど）に充当して全児童に給付した。同年12月26日に大地震が起き、小学校各教室の内壁が崩れ落ちるほどの激しいもの。児童は全員無事。復興救済資金として御内帑金（皇室のお手許金）が下賜された。

昭和8年5月7日

村長の交代がもつれていた頃（昭和4年）、昭和7年3月末、武蔵野に一通の封書が配達された。村の融和問題に関連する内容だったため、円満な解決をはかれるよう花園小学校を会場にして村長交代に関する会議を開催。

昭和16年4月1日

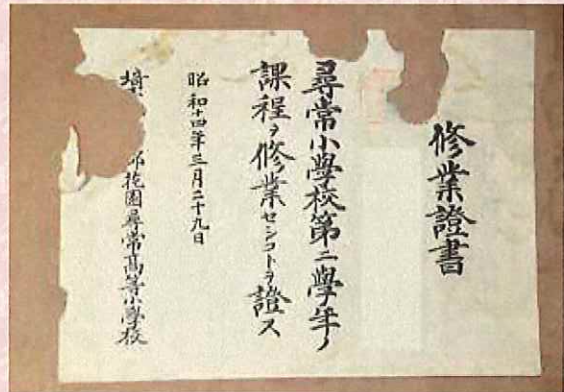
国民学校令公布により花園国民学校となる。

昭和19年4月

北足立郡朝霞町にあった陸軍予科士官学校の一部が、花園国民学校に疎開。



昭和15年



昭和14年 尋常小学校 第2学年修業証書



資料提供：根岸さん

花園小学校開校一五〇年記念事業協賛者芳名一覽 ※敬称略・順不同

一〇〇、〇〇〇円

長 島 勝 治

ガーデンビレッジ Hanazono

五〇、〇〇〇円

越 智 博 文

株式会社沼尻電気

有限会社ムサシ野工務店

株式会社コスミック

有限会社戸塚農園

山口 設 備

四一、四〇二円

昭和三十八年卒業同窓会

三〇、〇〇〇円

二〇、〇〇〇円

熊谷養蜂株式会社

有限会社小林土建工業

樹 享 園

鯨 平 園

大 華 園

高 野 精 肉 店

株 式 会 社 つ る や

有 限 会 社 出 浦 製 作 所

株 式 会 社 東 亜 興 業

株 式 会 社 ハ ー ズ

花 園 不 動 産

花 園 い ち ご 園

花 園 観 光 バ ス 株 式 会 社

花 園 建 築 設 計

プ ラ ス α 1 0 3

株式会社沼尻電気工事
工製作所株式会社 深谷工場

二〇、〇〇〇円

富田 峯雄

高野 浩成

有限会社アルテックトヨ住器

葵 寿司

浅間 園

有限会社新井産業

新井税理士事務所新井弘貴

有限会社石塚石材店

株式会社一慶

株式会社イチデン

内田建設株式会社

有限会社オオクボ

岡州 郭

有限会社笠原運輸

有限会社加藤装業

三峰やまなか

有限会社清秋園

株式会社吉野建設工業

株式会社芳光園

ヨリイ生コン株式会社

有限会社和幸園

J A 花園

山田 建築

株式会社ロワール

株式会社タキザワ美装

花園更生保護女性会

一〇、〇〇〇円

小池 宏佳

富田 和也

吉岡 巧

持田 源三郎

鈴木 三郎

大澤 滋

一〇、〇〇〇円

五、〇〇〇円

福島

太一

市川

商店

根岸

宗明

英樹

園

町田

きみ子

黒豚ミート

戸野倉

和美

テイloffアクトリー

村尾

正子

富田園芸

中山

壽子

萩原設計事務所

持田

倫武

有限会社花園木材

斉藤

富子

ひまわり家庭保育室

田辺

宏幸

ヘアースァロンマチダ

馬場

廣

焼肉利久

奈良

三三男

有限会社宇野設備

あさみ

医

有限会社埼玉県林業種苗農園

株式会社

おき商店

ユナツ産業

清華

園

株式会社パールータルサービス

田中

園

株式会社金子工務店

有限会社

相互設備

株式会社カネコホーム

千葉

葉電

有限会社ケー・エム・不動産

野辺

園芸

花園グリーンセンター

三、〇〇〇円

丸一園

荒木

利公

有限会社旺盛園

金子

正信

彩花クリニックス

株式会

旭製菓

吉岡植樹園

一、〇〇〇円

吉岡造園

栗原

覚

有限会社ローカルネット

鈴木

勇

熊谷信用組合

杉江

亜希子

スタジオオロクセキ

片山

昌和

埼玉酪農業協同組合

五〇〇円

五、〇〇〇円

マツモト

ケンジ

金子美智夫

橋本貴道

松本久光

小川府美江

新井年江

河田耕一

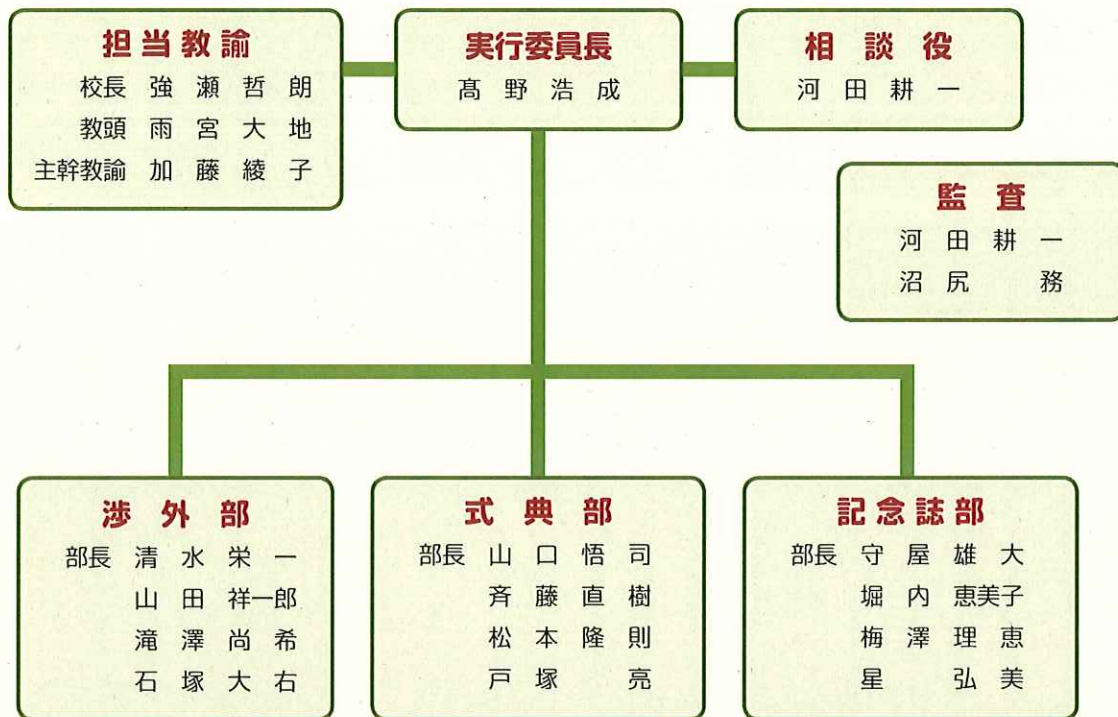
浅見建工

皆様より多大なるご協賛を賜り
厚く御礼申し上げます。

花園小学校

開校一五〇年記念事業実行委員会

花園小学校150年記念事業実行委員会組織図



編集後記

この度、花園小学校の開校150周年を記念して、記念誌を発行することができました。本当にありがとうございます。

今回の記念誌は、歴史ある花園小学校の150年間の歴史を、多くの皆様に知っていただくために作成されました。しかし、資料が少なく、編集作業には多くの苦労がありました。過去の資料等が少ない中、寄稿、資料提供して頂きました方、心より感謝申し上げます。

特に記念誌部の皆様、資料と時間のない中、編集作業を行って頂きました。皆様のおかげで完成する事ができました。心より感謝申し上げます。

この記念誌が、花園小学校の校史をたどるうえで、貴重な資料となることを願いつつ、今後花園小学校が豊かな教育を提供し続けることを祈念して、編集後記といたします。

守屋 雄大